

## 2019 年度実施概要

学校名

長野県松本市立波田小学校

採択活動名

山・川・海をつなぐ環境教育

取り組みの概要

## テーマ

自ら課題を持ち、友と共に対象への思いを深める子ども ～海とつながる梓川に親しむ活動を通して～

## テーマ設定の理由

「海がない松本市だからできること」、「見て触って感じる体験」を大切に考え、対象を海とつながる梓川とした。学区から源流（上高地）まで続く梓川に親しみ、体験から得た気付きや疑問を共有し自ら課題をもって活動に取り組むことで、対象への思いを深めることができるのではないかと考える。

## 学習内容

- ・研究部会を組織し、3学年に焦点をあてて学習内容を立案。4学年 波田せぎの学習、5学年 臨海学習へつながる素地を育てる段階の研究。

単元名「梓川の果てまで行ってQ」（3年生）

(a) 学校から徒歩15分の身近な梓川との関わり

- ・水の温度、いろいろな色・形の石、ビオトープでの川の生き物観察などから、気付きや疑問を共有
- ・この水はどこから来るのかな、川のはじまりを見てみたい

(b) 大河の一滴

- ・外部講師による、川のはじまりについての話（EEネットのコーディネート）
- ・海→雲→雨や雪→川→海という、水の循環をイメージ

(c) 梓川源流・頭首工の見学

- ・外部講師による梓川源流の学習（EEネットのコーディネート）
- ・上流の上高地（美しさで世界的に有名な源流部）は有益な学習材。子ども達が自ら考えた方法でその美しさを実感する体験（透明度・温度・味・水草等）を行った
- ・中流域（学区内）と源流の違いを実感したからこそ「きれいな水を汚さないようにしたい」という子どもの願いが生まれた
- ・きれいな水があることで、波田地区の美味しいスイカやリンゴ、米ができる

活動中の写真



実施単元名

1. 「梓川の果てまで行ってQ」（3年生）